

# ストライキ復活! ノウハウも知らず 戸惑う労使



今年の賃上げ交渉では大手寿司チェーンの店舗がストライキによって時給6円アップを勝ち取ったことがメディアでも話題となつた。きっかけはパート・アルバイトが、周囲の同業の店に比べて時給が低く、せめて周囲の店と同じ要求から始まつた。しかし経営

で落ち込んだものの、その後は300件前後と横ばいで推移している。

省の「労働争議統計調査」(総争議件数)によると、ストライキのピークは1974年の1万462件。ちなみにこの年の賃上げ率は32.9%という驚くべき数値だつた。ストライキは以後、減少し、1990年を境に2000件を下

り、2019年に268件まで落ち込んだものの、その後は300件前後と横ばいで推移している。

使の賃上げ交渉で「伝家の宝刀」でもあるストライキによって賃上げを実現した労働組合が徐々に増えている。厚生労働

**労**使の賃上げ交渉で「伝家の宝刀」でもあるストライキによって賃上げを実現した労働組合が徐々に増えている。厚生労働

側が聞き入れずストに突入。ストの様子がNHKをはじめメディアで報道されるようになり、時給増で妥結した。

ストの効果について産業別労働組合の幹部は「ストライキは短時間であっても仕事を離脱することになり、労使が決定的に対峙することを持ちは誰もが持っている」と語る。ただし、多くの労働組合員はストライキという言葉は知っていても、いったいどんなことをやるのか知らない人がほとんど。幹部は「正直言つて、ストライキの経験もなく、やり方を知らないので、昔の古い先輩に聞きながら、どうやれば効果的なのかを模索しているのが実状だ」と語る。長年賃上げが停滞し、賃上げ交渉のやり方がわからないという話を労使からよく聞いたが、同様にストライキについてもノウハウも含めて、労使ともどう対応してよいのかとなる要求から始まつた。しかし経営

どつてているようだ。